

山形県教育センターだより

山形県教育センター 指導主事 高橋良治

1 はじめに

県教育センターは、本県の中核的な研究・研修機関として、教員の資質向上のための研修の充実、教育課題を踏まえた実践的研究の推進と成果の普及、そして学校や各研究会の研究・研修活動への協力、さらには各種教育資料の情報発信などを通じて、学校や先生方の支援を行っています。

2 「教育の情報化」の推進

(1) 「教育の情報化」に関する研修講座

21年度は以下の研修講座を実施しました。

< 初任者研修 >

- ・教科指導とICT活用及び情報セキュリティなどの講義や演習

< 専門研修 >

- ・校内ネットワークづくり基礎講座
- ・授業でICT活用する先生のための基礎講座
- ・情報モラル教育推進講座

発達段階に応じた情報モラル教育の重要性が叫ばれる中、学校における情報モラル教育の指導力向上をめざして「情報モラル教育推進講座」を新設しました。

(2) ICT活用指導ダイジェスト

独立行政法人メディア教育開発センターの調査研究（H18年度）によれば、ICTを活用した授業後の客観テストの成績は、活用しない場合に比べ、小・中・高校ともに、技能、表現、知識・理解テストで高い数値を示しました。これは、授業におけるICTの効果的活用が、児童生徒の学力向上につながることの証左の一例です。そこで、よりわかる授業を展開する一つ的手段として、先生方が手軽に授業でICTを活用できるように指導ダイジェストを作成し、県内の全教員に配付しました。ICT活用が苦手な先生方にも具体的に便利な活用方法がわかりやすくまとめています。すべての先生が教科の目標を達成するために指導過程の効果的な場面でICTを活用してください。

(3) 山形県教育情報通信ネットワーク運用調査研究

山形県教育情報通信ネットワーク整備事業における統合サーバの導入やPC一人1台の整備、県基幹ネットワークへの接続などによる学校のICT環境の大きな改革に対応し、ネットワークのより効率的な活用方法の確立と質の高い教育を実現するために次の調査研究を行っています。

校務の情報化研究事業

校内ネットワークを活用した情報共有システムとして注目されているグループウェアを活用した場合の有効性について研究しています。[県立谷地高等学校におけるNetCommons(国立情報学研究所開発)の活用研究と有効性の検証]

オープンソースソフトウェア(OSS)の有効性検証・研究事業

ICT環境の一つとして注目されているオープンソースソフトウェアの有効性について研究しています。

こうした調査研究の取組みについては、今後、センターホームページ等で公開していく予定です。御意見などをいただければ幸いです。

3 研修用コンピュータシステムの更新

平成21年9月に研修用コンピュータシステムを更新しました。シンクライアントシステムを採用し研修者がOSやアプリケーションソフトを選択できるシステムにしました。また、高速なネットワーク接続環境であり動画や画像などの大容量のデータ共有も手軽に行えます。さらに、グループウェアやオープンソースソフトウェアの活用研修もできます。多くの研修者に有効利用していただきたいと思います。

4 山形県教育情報通信ネットワークの活用

教育センターのホームページは、現在は膨大な教育情報データベース機能を持つサイト(授業情報システム)となっており、毎年指導案等を収集し公開しています。現在、学習指導案を中心とする約3,500のコンテンツが掲載されています。授業設計等で御利用ください。